

科目名 (英)	オリエンテーション・導入教育	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・及川・加藤・大塚・宮崎
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	通年
学科・コース	ヘアメイク科	曜日・時間 集中					
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学年全体の学習イメージをつけることができる							
【授業を通じての到達目標】							
年間のスケジュールが理解できる 授業概要が理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 スケジュール・ルール確認 【到達目標】 年間のスケジュールが理解できるようになる 学則・内規等のルールを理解し、遵守の意識を持つ 学科職員や学校組織の構成を知る						
2							
3							
4							
5	【授業単元】 時間割・授業概要理解 就職活動について 【到達目標】 年間の授業概要を理解し、これからの学びのイメージをもつ 就職活動についての具体的な自分のスケジュールを立てることができる 【評価】出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施						
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	相互支援演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・及川・加藤・大塚
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 1	開講区分	前期 集中
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
クラス全体でファッションを考え、競技に取り組むことで、協調性を養い、クラス・学科間の相互支援関係を構築する							
【授業を通じての到達目標】							
・競技参加種目を決める ・クラスごとに衣装のコンセプトを決める ・当日を楽しみ、仲間を応援する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 参加競技決定 役割・委員決め 衣装決定 【到達目標】 クラス内で役割を決め、参加する競技を決める クラスごとにコンセプトを基に衣装を決める 小テスト・中間テスト:事前準備の積極性にて評価 40点満点						
2							
3							
4							
5	【授業単元】 行事当日 各種目に参加する 【到達目標】 各自与えられた役割を基に、競技に参加し、行事を運営する。 応援を通し、相互支援関係を構築する。 【定期テスト】 当日の出席・競技の積極性・応援の積極性等にて評価60点						
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 出席評価とする			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・及川・加藤・大塚
学科・コース	ヘアメイク科　ヘアメイクコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期 1組・2組:金(3限)　3・4組金(2限)
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 学生一人ひとりの強みを学生自身が探し出し、適性に沿った進路を選択できるようになる ※担任が社会人経験を活かし、社会人として大切な知識・一般常識・自己アピール力について指導し、第1希望企業の採用試験での内定を得られる人材育成授業を行う 主たる講師:美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している(及川)							
【授業を通じての到達目標】 ・自己分析、面接練習、グループワークを通し、自分の強みに気付き、相手に的確に伝えることが出来るようになる ・社会人として大切なマナー、一般常識の理解を得て、行動に責任をもてるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布				毎授業時に配布			
回	授　業　概　要					テスト配点	
1	自己紹介・前期スケジュール確認・クラス役割決め・学校ルール確認						
2	就職活動ルール確認・1, 2年生交流会の内容決め						
3	企業対応の仕方(電話・メール・言葉遣い)					5点	
4	履歴書対策①　自己PR作成(PREP法)　履歴書の書き方復習						
5	履歴書対策②　グループワーク(志望動機・自己PR)						
6	履歴書対策③　志望動機(まとめ)・履歴書完成						
7	中間テスト(20点満点)					20点	
8	面接対策①(入室から退出のマナー確認)　グループワーク(グループ内模擬面接)						
9	面接対策②模擬面接						
10	面接対策③模擬面接の振り返り　内定礼状の書き方・内定後のマナーについて(SNSなど)					10点	
11	敬語について①　未内定者面談実施						
12	一般常識①						
13	一般常識②					5点	
14	1～13回目までの授業の振り返り授業						
15	定期テスト(60点満点)					60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅲ (professional seminar)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	宮崎
学科・コース	ヘアメイク科ブライダルコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 3限
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダルヘアメイクを経験した教員がブライダルの業界に必要な基礎知識を実例をあげながら教えます							
【授業を通じての到達目標】							
ブライダルのプロフェッショナルになるために必要な基礎知識を身につけることができるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	クラスのチーム力をUPする①						
2	ヘッドドレスの種類					小テスト4点	
3	ドレスの種類					小テスト4点	
4	GW課題 好きなもののプレゼンテーション						
5	ブーケの種類					小テスト4点	
6	1回目から5回目復習						
7	中間テスト					20点	
8	グローブの種類						
9	something blue					小テスト4点	
10	共通の目的をもって行う						
11	クラスのチーム力をUPする②						
12	ブライダルの伝統菓子					小テスト4点	
13	コンテスト準備 口頭プレゼンテーション						
14	8回目から13回目復習						
15	定期試験					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点) / B評価(80～89点) / C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失) / F評価(0～59点・不合格)			

科目名 (英)	就職講座	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・及川・加藤・大塚
学科・コース	ヘアメイク科　ヘアメイクコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	1組・2組:金(4限)　3・4組金(1限)
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学生一人ひとりの強みを学生自身が探し出し、適性に沿った進路を選択し、就職活動の準備が自発的にできるようになる ※担任・キャリア・業界が連携し、企業に求められる人材育成授業を行う 主たる講師:美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している(及川)							
【授業を通じての到達目標】							
・学生が希望する進路に必要なスキル・知識を得て、自らで考え、行動し、就職活動に活かすことができる ・社会人として大切なマナー、一般常識の理解を得て、行動に責任をもてるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布				毎授業時に配布			
回	授　業　概　要					テスト配点	
1	学生それぞれの希望職種に合わせた業界理解・求められる人材とは①? (講話)						
2	学生それぞれの希望職種に合わせた業界理解・求められる人材とは②? (ディスカッション)						
3	自分が興味のある職種の求人の探し方①						
4	自分が興味のある職種の求人の探し方②(レポート課題)						
5	学生それぞれの希望職種に合わせた選考事例研究①(講話)						
6	学生それぞれの希望職種に合わせた選考事例研究②(ディスカッション)						
7	自分に合う職種の求人の探し方②					履歴書提出(20点満点)	
8	自分に合う職種の求人の探し方②(レポート課題)						
9	就職ガイダンスに臨むにあたって(礼儀作法・第1印象について)(講話)					10点	
10	就職ガイダンスに臨むにあたって(礼儀作法・第2印象について)(実践)						
11	就職ガイダンス(企業理解)						
12	就職ガイダンス(企業理解・レポート提出)						
13	内定後の流れについて・新社会人基礎力講習					10点	
14	1～13回までの総復習						
15	定期テスト					ペーパーテスト(60点満点)	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	就職講座 (careers seminar)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	宮崎
学科・コース	ヘアメイク科ブライダルコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 4限
		【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)					
本校で19年間就職支援をしてきた教員がひとりひとりにあった就職指導をします また、内定者に対しては内定実習における心構えやマナーを教えます							
【授業を通じての到達目標】							
就職活動～内定～内定実習に必要な知識や書類手続き、 ビジネスマナーの基本を知る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	書類の提出について 記入方法、期限について						
2	内定とは、内定礼状の書き方、封筒の書き方、郵便料金					小テスト4点	
3	承諾書の意味とは 返信封筒の書き方					小テスト4点	
4	受験先、内定先とのLINE や mail のやり取り						
5	内定研修の注意点						
6	1回目から5回目の復習						
7	中間テスト					20点	
8	仕事の基本 ホウレンソウ					小テスト4点	
9	接客7大用語					小テスト4点	
10	ご案内（エレベーター、エスカレーター）					小テスト4点	
11	タクシーの上座、下座					小テスト4点	
12	名刺交換						
13	相談は直属長をとびこえない						
14	8回目から13日目の復習						
15	定期試験					60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A 評価（90～100点）/B 評価（80～89点）/C 評価（70～79点） D 評価（60～69点） E 評価（出席不良・評価資格喪失）/F 評価（0～59点・不合格）			

科目名 (英)	業界特別授業	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・加藤・及川・宮崎・大塚
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイク技術を知り、知見を広げる							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアメイクアーティストの実演を通してヘアメイクの幅を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 ヘアメイク事情 【到着目標】 ヘアアーティストとメイクアップアーティストの違いについて、調べ学習や発表を通して理解を深める						
2							
3							
4							
5	【授業単元】 ヘアメイクアーティストの技術実演① 【到着目標】 制作プロセスから見学し、自分の作品制作に活かすことができる						
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●業界特別授業は出席評価とする			

科目名 (英)	ファイナルコンテスト	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・加藤・及川・宮崎・大塚
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年次および2年次前期の学びを活かし、独創的な作品を発表する							
【授業を通じての到達目標】							
モデルを対象に、コンセプト通りの作品を表現する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 コンセプト作成および仕込み 【到達目標】 ・テーマを基にイメージを膨らませ、コンセプトシートに落とし込む ・コンセプトシートを基に必要な材料をそろえる ・モデルに対し、事前に衣装合わせなどを実施する						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9	【授業単元】 コンテスト発表 【到達目標】 ・コンセプトシートを基にモデルにヘアメイクを施す ・制限時間内で仕上げ、プレゼンテーションを行う 【評価】 審査員および指導教員の評価により100点満点にて評価する						
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●事前審査および当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	スチール撮影演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	桐谷
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
既にある広告やマガジンのキービジュアル、ファッションアイコンのヘアメイクからその再現方法、細かくはディテールや質感の作り方を撮影までの過程を取り入れた実習を実施する。 講師経歴:美容サロンや一般企業に対するヘアメイク指導や、美容部員向けのメイク研修講師等を実施。特殊メイクや、スチール撮影での講師経験もある。							
【授業を通じての到達目標】							
自己判断的にならず、ヘアメイクを通してクライアントや第三者が見ても共感を得れる様なビジュアル作りを目標とする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーション 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認する						
2							
3	【授業単元】 イメージヘアメイク 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける						
4							
5	【授業単元】 クリエイティブヘアメイク 【到達目標】 フォトコンテストで賞を受賞するような作品のディレクションやアイデアを研究する						
6							
7	【授業単元】 スタジオワーク 【到達目標】 個人用作品の充実を図る						
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 スチール撮影演習Ⅱは出席評価とする			

科目名 (英)	業界研究Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・加藤・及川・宮崎・大塚
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
各企業より人事担当者が来校し、業界周辺の状況と顧客ニーズ、トレンド分析を実施する							
【授業を通じての到達目標】							
将来の就職分野の状況を知る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	10月2日 【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】就職活動について/企業紹介						
2	10月2日 【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
3	10月2日 【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
4	10月2日 【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
5	10月9日 【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
6	10月9日 【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
7	10月9日 【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
8	10月9日 【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
9	10月16日 【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】就職活動について/企業紹介						
10	10月16日 【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
11	10月16日 【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
12	10月16日 【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
13	10月23日 【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
14	10月23日 【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
15	10月23日 【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
【特記事項】				【評価について】 ●業界研究は出席評価とする			

科目名 (英)	特殊メイク演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	長濱 智光
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
普段、舞台等のリクエストをもとに授業内容を構成し、それに沿ったヘアメイクの表現方法の幅を学ぶ。 その中でも特に舞台・キャラクターに特化した授業を行う。 講師経歴:美容サロンで美容師として従事後、ヘアメイク事務所にてヘアメイク業務に8年以上従事。アートディレクターとしても活躍している。							
【授業を通じての到達目標】							
舞台メイク基礎を学ぶ							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】舞台メイク教材基礎知識 【到達目標】発汗に強いベース作り						
2	【授業単元】ベース作り 【到達目標】ベース作り～立体感・陰影作り						
3	【授業単元】小テスト ベース作り 【到達目標】ベース作り～完成まで					10	
4	【授業単元】ポイントメイク基礎Ⅰ 【到達目標】ポイントメイクの基礎をおさえる						
5	【授業単元】ポイントメイク基礎Ⅱ 【到達目標】ポイントメイクの基礎を実践する						
6	【授業単元】小テスト 舞台映えメイク 【到達目標】全体のバランスを考慮し、舞台上で映えるメイク完成					10	
7	【授業単元】中間テスト 【到達目標】相モデルで時間内に完成させる					20	
8	【授業単元】ボディペインティング 【到達目標】ボディペインティング教材基礎知識、ボディアート実技						
9	【授業単元】舞台メイクとボディペインティング 【到達目標】舞台メイク基礎で学んだ技術を取り入れ、ボディアートを融合させる						
10	【授業単元】舞台メイクとボディペインティングⅡ 【到達目標】舞台メイク基礎で学んだ技術を取り入れ、ボディアートを融合させ仕上げる						
11	【授業単元】舞台メイク応用 【到達目標】舞台メイクを応用させ、実践する						
12	【授業単元】キャラクターメイク 【到達目標】キャラクターメイクに特化して学						
13	【授業単元】作品作り 【到達目標】定期試験に向けての作品作り						
14	【授業単元】作品作りⅡ 【到達目標】定期試験に向けての作品作り						
15	【授業単元】定期テスト 【到達目標】舞台メイク応用で学んだ技術を生かしボディアートを取り入れた作品を仕上げる					60	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク応用演習Ⅰ(BA)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	堤 里海
学科・コース	ヘアメイク科ヘアメイクコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜1,2限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
BAとしてお客様に合ったご提案をする為に、タッチアップにおいてのマナーや様々なブランドのメイクトレンドを理解し、現場対応が可能な技術を身に付ける 主たる講師:外資系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼、MV、TV、広告等のヘアメイクに携わる。(堤 里海)							
【授業を通じての到達目標】							
現場に必要なタッチアップマナーやカウンセリング力、メイクアップ技術を身に付け、様々なブランドのコンセプトや製品について理解する事により、お客様一人一人に合った提案力を修得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、ファイル							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	授業内容、ルール、テーブルセッティング、教材使用法の確認。ブランドリサーチ、フルメイクを行う。						
2	SSTレンドメイクパターン① フェイスチャート練習						
3	SSTレンドメイクパターン② フェイスチャート練習					5	
4	メイクブランドリサーチを行い、課題に沿ってタイム内フルメイク完成						
5	ラグジュアリーブランドリサーチを行い、課題に沿ってタイム内フルメイク完成						
6	オーガニックブランドリサーチを行い、課題に沿ってタイム内フルメイク完成					5	
7	中間テスト					20	
8	カウンセリングフルメイク① ニーズを引き出す						
9	カウンセリングフルメイク② お悩み解決						
10	カウンセリングフルメイク③ テーマ別						
11	カウンセリングフルメイク④ 指定アイテムの提案						
12	カウンセリングフルメイク⑤ まとめ					5	
13	自身の目指すブランドのリサーチ①イメージメイクの作成						
14	自身の目指すブランドのリサーチ②イメージメイクの作成					5	
15	定期テスト					60	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	アイリスト	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	武藤・久家・坂下
学科・コース	ヘアメイク科 ヘアメイクコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
本科目を受け持つ講師は全員アイリストとしてサロンワーク・講師としてのスタッフ育成・教員を務めた経験を有しており、アイリストとしての基礎知識や接客を身につけている							
【授業を通じての到達目標】							
アイラッシュ知識やより実践的な接客・カウンセリング技術を習得し、職人として社会に貢献することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
アイラッシュ道具一式							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	目、毛の構造と働き・毛周期・病理学・商材学①・テープワーク						
2	衛生管理・商材学②・道具を用いてエクステ装着・ツイザーワーク						
3	マネキントレーニング（テープワークから装着）						
4	マネキントレーニング（テープワークから前処理、装着）・小テスト					10点	
5	オフのやり方・マネキントレーニング(テープワークから装着まで)						
6	アフターケア・マネキントレーニング（テープワークから装着まで）						
7	中間試験（筆記） マネキン（テープ～エクステ装着の手順）					20点	
8	ミュゼ接客講習・カウンセリング学・デザイン学・トラブル対応						
9	(第3校舎 B1F) カウンセリング（太さ長さカールのみ）～施術（デザインALL)相モデル						
10	(第3校舎 B1F) カウンセリング（太さ長さカールのみ）～施術（デザインCUTE)相モデル						
11	(第3校舎 B1F) カウンセリング（太さ長さカールのみ）～施術（デザインS E X Y） 相モデル・小テスト					10点	
12	店舗見学						
13	(第3校舎 B1F) カウンセリングからタイムカウントで相モデル（デザイン自由）						
14	(第3校舎 B1F) カウンセリングからタイムカウントで相モデル（デザイン自由）						
15	(第3校舎 B1F) 期末試験 相モデル1Hでオフ無し80本					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A 評価（90～100点）/ B 評価（80～89点）/ C 評価（70～79点） D 評価（60～69点） E 評価（出席不良・評価資格喪失）/ F 評価（0～59点・不合格）			

科目名 (英)	ヘアメイク応用演習(スタイリスト)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	阿部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日
学科・コース	ヘアメイク科ヘアメイクコース						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現場で一番に教わるシャンプー・ドライ、ブローを学ぶことで美容師の仕事に触れる。入社後に学校で学んだ基礎があることで即戦力になることができる。 主たる講師:美容室で美容師として従事しながら、本校で講師を勤める(阿部)							
【授業を通じての到達目標】							
シャンプーイングの目的を学び、使用するシャンプー剤の成分を理解し、その上でシャンプーイングの流れができるようになる。 ドライ・ブローにてドライヤーとブラシの使い方を理解し、できる様にする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
日本理容美容教育センターの美容技術理論1を参考とする。							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	シャンプーイングの総論						
2	サイドシャンプーの説明(座学) ウィッグにて練習 ブローの説明・実践 ウィッグにて練習						
3	シャンプー台へのご案内、クロス付け、タオルターバンの説明・実践 サイドシャンプー(実技) ウィッグにて練習 スタイリング剤の使用法・スタイリング ウィッグにて練習						
4	シャンプー台へのご案内、クロス付け、タオルターバンの復習 サイドシャンプー(展示・実践) ドライ・ブローの復習						
5	サイドシャンプー・ブロー・スタイリング(実技)						
6	サイドシャンプー・ブロー・スタイリング(実技)						
7	サイドシャンプー・ブロー・スタイリング(実技)					小テスト10点満点	
8	サイドシャンプーテスト					中間テスト20点満点	
9	バックシャンプーの説明(座学) ウィッグで練習						
10	バックシャンプー(展示)(実技)						
11	バックシャンプー(実技)						
12	バックシャンプー・ヘットスパ(実技)						
13	バックシャンプー・ヘットスパ(実技)					小テスト10点満点	
14	定期テストに向けての練習						
15	バックシャンプーテスト					定期試験60点満点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク応用演習Ⅰ(ヘアメイク)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	東村／長濱
学科・コース	ヘアメイク科　ヘアメイクコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ここまで学習した基礎、並行して学ぶ応用も含め、どの様に実践で活用していくかを学びます。 現場で求められるリクエストを基に、ヘアスタイルやヘアセットのパターン別の表現方法、メイクの表現方法のレベルアップをはかる。 ・既にある広告やマガジンのキービジュアルやファッションアイコンから、ヘアメイクの表現、形、質感を撮影までの過程を想定して実習します。							
講師経歴：(長濱)美容サロンで美容師として従事後、ヘアメイク事務所にてヘアメイク業務に8年以上従事。 アートディレクターとしても活躍している。							
講師経歴：(東村)美容サロンや一般企業に対するヘアメイク指導、美容部員向けのメイク研修講師等を実施。 特殊メイク、スチール撮影の講師経験もある。							
【授業を通じての到達目標】							
与えられたテーマを元に、女性像やスタイルを自ら提案、プレゼンが出来るようにする。自己判断、好みに走り過ぎないように、クライアントや第三者が見ても共感を得れる様なビジュアル作りを目標とします。 授業を通じ、現場で何が求められてるか考え行動出来るようにする。即戦力になる技術を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式				携帯アプリ(ピンタレスト等)を利用し、ジャンル別にヘアメイクビジュアルをまとめ、フォルダリングしていく。 現場アシスタントに参加し、直接モデル、タレントを担当し実地研修。			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	[ハイファッション／メイク] リッチ、ラグジュアリーなイメージをメイクで表現。質感と配色の研究を行う。 東村						
2	[ハイファッション／ヘアー] リッチ、ラグジュアリーなイメージをヘアーで表現。様々なアイロンワークで質感とスタイリングの研究を行う。 東村						
3	[クリエイティブ／メイク] サブカルや個性的なイメージをメイクで表現。異素材やペイントを使ったメイクの研究を行う。 東村						
4	[クリエイティブ／ヘアー] 様々なアイロンワークやエクステンションでカラーを取り入れ、斬新なスタイルの研究を行う。 東村						
5	[クリエイティブ／ヘアメイク] 独創的で自由なヘアメイクを実践する。 東村					[20点満点]1～4の授業を踏まえ、自由テーマで表現力を採点。	
6	[デモンストレーション／ムードボード作成] テストに向けた講師デモと、テストで行うヘアメイクのテーマ決め、ムードボードを作成する。 東村						
7	[中間テスト] 前回作成したムードボードを元にヘアメイクしプレゼンを行う。 東村					[30点満点]ムードボードとヘアメイクの表現力、プレゼン力を総合的に採点。	
8	最近依頼のあるヘアセットをブローやアイロンワークで学ぶ。相モデル、もしくはウィッグ。 長濱						
9	半顔メイクで学ぶ技術の違い。相モデルにて。 長濱						
10	小テスト / テーマに沿ったヘアメイクを相モデルで実施。 長濱					10点満点	
11	雑誌やWEBから学ぶヘアメイク実習Aーナチュラル、フェミニンetcー 長濱						
12	雑誌やWEBから学ぶヘアメイク実習Bーエレガント、クールetcー 長濱						
13	小テスト / 4、5のイメージからこれまでの経験を活かして相モデルに似合うイメージを表現する。 長濱					10点満点	
14	中間テスト / 事前に相モデルに似合うイメージを準備し、それを基にしたヘアメイクを行う。 長濱					30点満点	
15	[振り返り]ヘアメイクとして自己プロデュースの仕方などディスカッション。作品発表。 東村／長濱						
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)／B評価(80～89点)／C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)／F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク応用演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	桐谷
学科・コース	ヘアメイク科　ヘアメイクコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分 曜日・時間	前期 金曜日(2,4組)
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 様々なバリエーションのヘアメイクを習得する事ができる。 講師：桐谷　コレクション(パリ、ミラノ、ニューヨーク、ロンドン)等のヘアメイク、TV((タレント等)、広告、ブライダル、サロンワーク等、多方面の分野で活躍し、本校で講師も務める							
【授業を通じての到達目標】 一年時に学んだ基礎技術を基に、バリエーションを増やす事によって更なる技術向上とヘアメイクの引き出しを増やす。コンテストへ向けて発想能力と技術の完成度を高める。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
				様々なヘアメイクのデザインを見て、スクラップブックを作っておく			
回	授　業　概　要					テスト配点	
1	年代別ヘア 30年代ヘア　30年代のウェーブスタイルを中心としたヘアを学ぶ						
2	年代別ヘアメイク(合同) 30年代のメイクに合わせて、ヘアメイクを完成する					20点	
3	年代別メイク 50年代メイク　50年代の目元とリップにフォーカスしたメイク						
4	年代別ヘア 50年代ヘア　50年代のボリュームのあるトップシニヨンスタイル						
5	年代別ヘアメイク 50年代のヘアメイクを相モデルで完成する						
6	中間テスト					20点	
7	和髪 日本髪						
8	和髪 日本髪バリエーション						
9	編み込み基礎 数種類の編み込み(4つ編み、カゴ編み、チェーン編み、マクラメ編み等)						
10	編み込み応用 編み込みを入れてスタイルを完成させる						
11	トレンドヘア 2020年FW,AWを意識したヘアを学ぶ						
12	コンテスト練習						
13	コンテスト練習						
14	ヘア基礎 ヘアを作る上でのベース作りをもう一度見直す事によって、作品のクオリティを上げる						
15	定期テスト					60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク応用演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	桐谷
学科・コース	ヘアメイク科　ヘアメイクコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日(1、3組)
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 様々なバリエーションのヘアメイクを習得する事ができる。 主たる講師：桐谷　コレクション(パリ、ミラノ、ニューヨーク、ロンドン)等のヘアメイク、TV((タレント等)、広告、ブライダル、サロンワーク等、多方面の分野で活躍し、本校で講師も務める							
【授業を通じての到達目標】 一年時に学んだ基礎技術を基に、バリエーションを増やす事によって更なる技術向上とヘアメイクの引き出しを増やす。コンテストへ向けて発想能力と技術の完成度を高める。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
				様々なヘアメイクのデザインを見て、スクラップブックを作っておく			
回	授　業　概　要					テスト配点	
1	年代別ヘアー 30年代ヘアー　30年代のウェーブスタイルを中心としたヘアーを学ぶ						
2	年代別ヘアメイク(合同) 30年代のメイクに合わせて、ヘアメイクを完成する					20点	
3	年代別メイク 60年代メイク　60年代の目元とリップにフォーカスしたメイク						
4	年代別ヘアー 60年代ヘアー　60年代のボリュームのあるトップシニヨンスタイル						
5	年代別ヘアメイク 60年代のヘアメイクを相モデルで完成する						
6	中間テスト					20点	
7	和髪 日本髪						
8	和髪 日本髪バリエーション						
9	編み込み基礎 数種類の編み込み(4つ編み、カゴ編み、チェーン編み、マクラメ編み等)						
10	編み込み応用 編み込みを入れてスタイルを完成させる						
11	トレンドヘアー 2020年FW,AWを意識したヘアーを学ぶ						
12	コンテスト練習						
13	コンテスト練習						
14	ヘアー基礎 ヘアーを作る上でのベース作りをもう一度見直す事によって、作品のクオリティを上げる						
15	定期テスト					60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク応用演習Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	秋本 今井
学科・コース	ヘアメイク科ヘアメイクコース	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60	開講区分 曜日・時間	前期 1組、3組 今井(金)
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) メイクブランドアーティスト、メイクイベント、撮影等の現場で活かせるヘアメイクの技術を学ぶ 主たる講師：メイクブランドアーティスト、メイクイベント、撮影等のヘアメイクとして、現役で従事しながら、本校で講師を勤める(秋本・今井)							
【授業を通じての到達目標】							
1年生で学んだ基礎を活かして、よりステップアップした技術を学び、個性的でクリエイティブな技術をコンテストで発揮するべく、構想のソースとなる年代ヘアメイクを学ぶ							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	30年代メイク						
2	30年代合同ヘアメイク						
3	50年代メイク						
4	50年代ヘアー						
5	50年代ヘアメイク						
6	中間テスト ヘアメイク						20
7	和メイク						
8	和メイク応用						
9	エスニックメイク						
10	クリエイティブメイク						
11	AWトレンドメイク						
12	コンテスト練習						10
13	コンテスト練習						10
14	定期テスト練習 コントウアメイク基礎						
15	定期テスト						60
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク応用演習Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	秋本 今井
学科・コース	ヘアメイク科ヘアメイクコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
				曜日・時間		2組、4組 秋本(水)	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイクブランドアーティスト、メイクイベント、撮影等の現場で活かせるヘアメイクの技術を学ぶ 主たる講師:メイクブランドアーティスト、メイクイベント、撮影等のヘアメイクとして、現役で従事しながら、本校で講師を勤める(秋本・今井)							
【授業を通じての到達目標】							
1年生で学んだ基礎を活かして、よりステップアップした技術を学び、個性的でクリエイティブな技術をコンテストで発揮するべく、構想のソースとなる年代ヘアメイクを学ぶ							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	30年代メイク						
2	30年代ヘアメイク						
3	60年代メイク						
4	60年代ヘア						
5	60年代ヘアメイク						
6	中間テスト					20	
7	和メイク						
8	和メイク応用						
9	エスニックメイク						
10	クリエイティブメイク						
11	AWTレンドメイク						
12	コンテスト練習					10	
13	コンテスト練習					10	
14	定期テスト練習 コントウアメイク基礎						
15	定期テスト					60	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価			
				A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)			
				D評価(60～69点)			
				E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法			
				評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク応用演習Ⅳ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	堤、久保
学科・コース	ヘアメイク科 ヘアメイクコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
様々なシーンで応用の出様々なシーンに対応出来る、メイクアップ技術を習得する。主たる講師：外資系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼、MV、TV、広告等のヘアメイクに携わる。（堤・久保）							
【授業を通じての到達目標】							
メイクの応用技術や、コレクション、トレンド等の様々なメイク技術を身につける事により、コンテストや作品撮りに備える。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、鏡用雑巾				夏休み課題:スチール用コンセプトシート			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	コレクションメイク:コントゥアリング						
2	コレクションメイク:質感						
3	コレクションメイク:グリッター					5	
4	コレクションメイク:カラー(80年代)						
5	コレクションメイク:和						
6	中間テスト練習 コレクションメイク:アイフォーカス					5	
7	中間テスト					20	
8	コンセプトシート作成						
9	クリエイティブメイク:アニマル						
10	トレンドメイク①(2020～21AW)						
11	トレンドメイク②(2020～21AW)					5	
12	コンテストメイク練習						
13	コンテストメイク練習、夏休み課題説明						
14	定期テスト練習 （夏休み課題:スチール用コンセプトシート提出）					5	
15	定期テスト					60	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ブライダル総合演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	宮崎
学科・コース	ヘアメイク科ブライダルコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 水 3・4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダル職の経験を活かして、ブライダル業界に就く者に必要な衣裳、小物の基礎知識をリサーチワークを通して習得する							
【授業を通じての到達目標】							
ブライダル業界のプロになるために必要なドレス、小物の知識を習得する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	花嫁衣裳<ドレス>の最新トレンド						
2	花嫁衣裳<小物>の最新トレンド						
3	花婿衣裳<タキシード・フロックコート>の最新トレンド						
4	花婿衣裳<小物>の最新トレンド						
5	ブライダルヘアメイクの最新トレンド					小テスト(4点)	
6	1～5回までのまとめ					小テスト(4点)	
7	中間テスト					中間テスト(20点)	
8	花嫁トータルコーディネートプランニング①					小テスト(4点)	
9	花嫁トータルコーディネートプランニング②					小テスト(4点)	
10	結婚式・披露宴 ゲストのドレスの最新トレンド						
11	結婚式・披露宴 ゲストの小物の最新トレンド						
12	七五三の衣裳						
13	七五三のお母さんの衣裳						
14	8～13回までのまとめ					小テスト(4点)	
15	定期試験					定期テスト(60点)	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ブライダルヘアメイク応用演習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大井・永井
学科・コース	ヘアメイク科ブライダルコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	前期 火曜・1～4限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダルサロン勤務経験以外にもファッションショー・雑誌の撮影・舞台など20年以上にわたり幅広く現役で活躍している講師によるブライダルヘアメイクになる為の基礎技術・トータルバランス感覚・アテンド技術・自身の美しさを身に付ける							
【授業を通じての到達目標】							
各技術を理論的に理解・修得出来る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ヘア復習(夜会・カールアップ・ゆるふわアップ・編みおろし):1年時の技術を復習する						
2	ヘッドパーツ作成(フラワー):ヘッドパーツを作成し、ヘアスタイルとのアレンジ・バランス感覚を習得する						
3	ブロー&メンズヘアセット:ドライヤー・ブラシの扱い方の技術を習得する						
4	前髪・顔周り・おくれ毛アレンジ:骨格を理解し、ニュアンスアレンジを習得する(ウィッグ・相モデル)						
5	今どきゆるふわ①:これまでに学んだ技術を使い相モデルにて創造・作成する					小テスト(5点)	
6	今どきゆるふわ②:これまでに学んだ技術を使い相モデルにて創造・作成する					小テスト(5点)	
7	撮影練習・準備:撮影のコンセプトに合わせてヘアメイク・飾りを作成する						
8	撮影:各グループごとにコンセプトに合わせて作品を撮影する					中間テスト(20点)	
9	ディズニープリンセススタイル①:指定されたプリンセスをイメージし、ヘアスタイルを創造・作成する					小テスト(5点)	
10	ディズニープリンセススタイル②:指定されたプリンセスをイメージし、相モデルにてヘア・メイクを創造・作成する					小テスト(5点)	
11	コンテスト作品試作・ドレス選び:作品の方向性を決めて試作を作成する						
12	コンテスト作品練習:試作を基に作品を改善・修正する						
13	コンテスト作品練習:コンテスト作品を規定時間内に作成する(モデル持込み有)						
14	ヘアメイクカルテ作:実際のリハーサルを想定し、だれが見ても伝わるカルテを作成する						
15	ヘアメイクカルテ作成:前回のカルテを基にヘアメイクを復元させる					定期テスト(60点)	
【特記事項】				【評価について】			
7/20 ファイナルコンテスト				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
9/23.25 スチール撮影練習				●評価			
9/29 スチール撮影				A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)			
				D評価(60～69点)			
				E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法			
				評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ブライダルヘアメイク応用演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大井・永井
学科・コース	ヘアメイク科ブライダルコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時間	水曜・1,2限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダルサロン勤務経験以外にもファッションショー・雑誌の撮影・舞台など20年以上にわたり幅広く現役で活躍している講師によるブライダルヘアメイクになる為の基礎技術・トータルバランス感覚・アテンド技術・自身の美しさを身に付ける							
【授業を通じての到達目標】							
各技術を理論的に理解・修得出来る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ヘアメイクデモ見学:現役ブライダルヘアメイクさんの技術・道具・使い方を見学し学ぶ						
2	ヘッドパーツ～ヘアアレンジ(リボン):ヘッドパーツを作成し、ヘアスタイルとのアレンジ・バランス感覚を習						
3	今どき撮影スタイル①:今どきの撮影方法・スタイル・アイテムを知る						
4	今どき撮影スタイル②:今どきの撮影方法・スタイル・アイテムを知る						
5	撮影練習・準備:各グループに分かれてコンセプトを決め、計画書を作成する						
6	撮影練習・準備:各グループに分かれてコンセプト・計画書を基に作品を最終調整し完成度を高める						
7	撮影フィードバック・筆記テスト					中間テスト(20点)	
8	メンズスタイル①:タキシード・モーニングの小物の種類・着付け技術を習得する					小テスト(5点)	
9	メンズスタイル②メンズスタイルにおけるネクタイの種類・結び方、ブートニアの付け方を習得する					小テスト(5点)	
10	ブライダル基礎知識:婚礼の種類・イベント・アイテムを知る					小テスト(10点)	
11	コンテスト作品練習①:試作を基に改善・修正し、より完成度を高める						
12	コンテスト作品練習②:試作を基に改善・修正し、より完成度を高める						
13	コンテスト作品練習③:コンテスト作品を最終調整し完成度を高める(モデル持込み有)						
14	ヘア模写①:指定された画像を基にヘアスタイル模写・作成する						
15	ヘア模写②:指定された画像を基にヘアスタイル模写・作成する					定期テスト(60点)	
【特記事項】				【評価について】			
7/20 ファイナルコンテスト				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
9/23.25 スチール撮影練習				●評価			
9/29 スチール撮影				A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)			
				D評価(60～69点)			
				E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法			
				評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ブライダルヘアメイク総応用演習Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	木本ルミ子
学科・コース	ヘアメイク科・ブライダルコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日・1, 2限
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
今までの技術に応用し様々なブライダルスタイルをスタイリング出来るようになる。 また実際にブライダルの現場で施術を行っている講師より現在のトレンドや現場での立ち振る舞いなどを体験談を交えながら伝えることにより学生がブライダルヘアメイクという職業をイメージしながら学ぶことが出来る							
【授業を通じての到達目標】							
様々なブライダルスタイルを会場・ドレス・小物に合わせたトータルコーディネートが出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	メイク : 基本技術復習 道具の使い方、ブライダルメイクに合わせた色・形・質感を意識したメイクを完成させる						
2	ヘア : H P似合わせ チュールでH PをDIYしてアレンジしたスタイルに合わせ完成させることが出来る						
3	メイク : イメージ別①キュート イメージに合わせたメイクのポイントをつかみ相モデルで実践し仕上げる						小テスト 5
4	メイク : イメージ別②クール イメージに合わせたメイクのポイントをつかみ相モデルで実践し仕上げる						小テスト 5
5	メイク : 似合わせメイ① モデルのパーソナルカラー、顔立ち（パーツの配置、形）を意識して実践し仕上げる						
6	メイク : 似合わせメイク② モデルのパーソナルカラー、顔立ち（パーツの配置、形）を意識して実践し仕上げる						中間テスト 20点
7	ヘアメイク : スチール演習						
8	ヘア : 年代別ヘアスタイル① ヘアメイクの歴史を学びその年代の代表的なヘアスタイルを修得する						小テスト 5
9	メイク : 年代別メイク① ヘアメイクの歴史を学びその年代の代表的なメイクを修得する						
10	ヘア : 年代別ヘアスタイル② ヘアメイクの歴史を学びその年代の代表的なヘアスタイルを修得する						
11	メイク : 年代別メイク② ヘアメイクの歴史を学びその年代の代表的なメイクを修得する						小テスト 5
12	ヘアメイク : コンテスト演習 コンテスト作品を繰り返し練習し改善点を探り完成形に近づける						
13	ヘアメイク : コンテスト演習 コンテスト作品を規定時間内に完成させ最終確認を行う						
14	メイク : メイク模写① 課題の写真からポイントとなるメイクを読み解き実践する						
15	メイク : メイク模写② 課題の写真からポイントとなるメイクを読み解き実践する						定期テスト 60点
【特記事項】				【評価について】			
7月20日(月) コンテスト				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A 評価 (90～100点) / B 評価 (80～89点) / C 評価 (70～79点) D 評価 (60～69点) E 評価 (出席不良・評価資格喪失) / F 評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	花嫁着付	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中澤・岡野・和田
学科・コース	ヘアメイク科 ブライダルコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
和装婚礼式服<白無垢>、花婿式服の着付							
【授業を通じての到達目標】							
1、花婿式服:紋付・羽織・袴の着付を覚える 2、白無垢の式服を覚える							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
Be・オリジナルテキストを使用							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	和装花婿の紋服の着付を覚える						
2							
3							
4						20	
5	和装花嫁の体系づくり、補正から長襦袢、伊達巻まで						
6						20	
7							
8							
9	白無垢の着付、長襦袢、掛下着付、伊達巻まで						
10							
11							
12							
13	掛下文庫結びの結び方、打掛けの形づけ、小物の型づけまで						
14							
15						60	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	オリエンテーション・導入教育	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・及川・加藤・大塚・宮崎
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	通年
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学年全体の学習イメージをつけることができる							
【授業を通じての到達目標】							
年間のスケジュールが理解できる 授業概要が理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 スケジュール・ルール確認 【到達目標】 年間のスケジュールが理解できるようになる 学則・内規等のルールを理解し、遵守の意識を持つ 学科職員や学校組織の構成を知る						
2							
3							
4							
5	【授業単元】 時間割・授業概要理解 就職活動について 【到達目標】 年間の授業概要を理解し、これからの学びのイメージをもつ 就職活動についての具体的な自分のスケジュールを立てることができる 【評価】出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施						
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・及川・加藤・大塚
学科・コース	ヘアメイク科　ヘアメイクコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 社会人として必要なスキル・知識を教え、実践的に活かせるマインド育成を行う 主たる講師:美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している(及川)							
【授業を通じての到達目標】 ・社会人として大切なマナー、一般常識の理解を得て、行動に責任をもてるようになる ・ビジネスマナーを学び、新社会人としての仕事をイメージすることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 毎授業時に配布				【授業外における学習】 毎授業時に配布			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	後期スケジュール確認・卒業前目標決め						
2	敬語の復習　尊敬語、謙譲語、丁寧語を理解し、正しい日本語で話すことができる						
3	マナー①《第一印象・色について》　・第一印象について学び、お客様・上司と話す際のポイントを理解し、実践することができる					5点	
4	マナー②《美しい話し方・会話術》　接客などにあたり、快い態度・話し方・会話について学び、実践することができる						
5	カラーについて》　・色の持つ力について学び、自身の印象について考え、より良く取り入れることが出来						
6	マナー③《コミュニケーション》　自身のコミュニケーションタイプを知り、自分と相手にとって心地よいコミュニケーションを考えることができる						
7	敬語・印象・態度などのマナー　中間テスト(20点満点)					20点	
8	ビジネスマナー①《言葉遣い①》・お客様・上司への言葉遣いについて学び、知識を得ることができる						
9	ビジネスマナー②《ルール・言葉遣い》　報告、連絡、相談などの社会人として必要な知識を得ることができる						
10	《一般常識》①　・一般常識の知識を得て、どの世代の人にも対応できる話題力・語彙力を身に付けることができる					10点	
11	《一般常識》②　・一般常識の知識を得て、どの世代の人にも対応できる話題力・語彙力を身に付けることができる						
12	マネー教育《税金・生計プラン》　社会人として支払うべき税金や生計プランのたて方を考え、お金の管理について考えることができる						
13	《一般常識》③　・一般常識の知識を得て、どの世代の人にも対応できる話題力・語彙力を身に付け、応用することができる					5点	
14	1～13回目までの授業の振り返り授業						
15	定期テスト(60点満点)					60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅳ (professional seminar)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	宮崎
学科・コース	ヘアメイク科ブライダルコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
ブライダルヘアメイクを経験した教員がブライダル従事者に必要なブライダルの基礎知識を教えます							
【授業を通じての到達目標】							
美容業界のプロフェッショナルになるためにブライダルの基礎知識を身につけて、お客様のニーズを理解できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	後期スケジュール確認・卒業前目標決め						
2	敬語の復習 尊敬語、謙譲語、丁寧語を理解し、正しい日本語で話すことが出来る						
3	マナー①《第一印象・色について》 ・第一印象について学び、お客様・上司と話す際のポイントを理解し、実践することが出来る					5点	
4	マナー②《美しい話し方・会話術》 接客などにあたり、快い態度・話し方・会話について学び、実践することが出来る						
5	色について》 ・色の持つ力について学び、自身の印象について考え、より良く取り入れること						
6	マナー③《コミュニケーション》 自身のコミュニケーションタイプを知り、自分と相手にとって心地よいコミュニケーションを考えることが出来る						
7	敬語・印象・態度などのマナー 中間テスト（20点満点）					20点	
8	ビジネスマナー①《言葉遣い①》 ・お客様・上司への言葉遣いについて学び、知識を得ることが出来る						
9	ビジネスマナー②《ルール・言葉遣い》 報告、連絡、相談などの社会人として必要な知識を得ることが出来る						
10	《一般常識》① ・一般常識の知識を得て、どの世代の人にも対応できる話題力・語彙力を身に付けることが出来る					10点	
11	《一般常識》② ・一般常識の知識を得て、どの世代の人にも対応できる話題力・語彙力を身に付けることが出来る						
12	マネー教育《税金・生計プラン》 社会人として支払うべき税金や生計プランのたて方を考え、お金の管理について考えることが出来る						
13	《一般常識》③ ・一般常識の知識を得て、どの世代の人にも対応できる話題力・語彙力を身に付け、応用することができる					5点	
14	1～13回目までの授業の振り返り授業						
15	定期テスト（60点満点）					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点） D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）			

科目名 (英)	特別講座	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・及川・加藤・大塚
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
本校卒業生でヘアメイクアーティストでもある講師が、専門分野での学びがスムーズに入れるようこれからの将来像を明確にする							
【授業を通じての到達目標】							
現場のプロを目指すことができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 特別講座についての説明 事前準備						
2							
3	【授業単元】 卒業までのシミュレーション・目標を立て、社会人になる心構えを持つ 【到達目標】 社会人としての挨拶、立ち振る舞いを学び、実践する						
4							
5							
6	【授業単元】 職種ごとの就職先代表者の講演 【到達目標】 専門分野の働き方を知ることができる						
7							
8							
9							
10	【授業単元】 職種ごとの就職先代表者の講演 【到達目標】 専門分野の働き方を知ることができる						
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 特別講座は出席評価とする			

科目名 (英)	総合演習発表	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	今井・加藤・及川・宮崎・大塚
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
身につけた技術・センスを基にオリジナル作品を制作する							
【授業を通じての到達目標】							
より多くのギャラリーに作品を見られる経験をすることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 振り返り 【到達目標】 ・前期実施した内容を振り返り、自己の課題を明確にする ・課題に基づき相モデルにてヘアアレンジ・メイクを実践する ・発表本番を想定し、シュミレーションを実施する						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9	【授業単元】 作品発表制作 【到達目標】 課題に基づき求めるヘアアレンジとメイクが実践できる						
10							
11							
12							
13							
14							
15	【授業単元】 作品発表						
【特記事項】				【評価について】 ●振り返りシートおよび指導評価により、100点満点にて評価する ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術(アイリスト)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	武藤・久家・坂下
学科・コース	ヘアメイク科 ヘアメイクコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
本科目を受け持つ講師は全員アイリストとしてサロンワーク・講師としてのスタッフ育成・教員を務めた経験を有しており、学生にアイリストとしての基礎知識や接客を身をもって指導する							
【授業を通じての到達目標】							
アイラッシュ知識やより実践的な接客・カウンセリング技術を習得し、職人として社会に貢献することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
アイラッシュ道具一式							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	カウンセリングからタイムカウントで相モデル(デザイン自由)80本まで						
2	カウンセリングからタイムカウントで相モデル(デザイン自由)80本まで						
3	カウンセリングからタイムカウントで相モデル(デザイン自由)80本まで						
4	カウンセリングからタイムカウントで相モデル(デザイン自由)100本まで・小テスト					10点	
5	カウンセリングからタイムカウントで相モデル(デザイン自由)100本まで						
6	カウンセリングからタイムカウントで相モデル(デザイン自由)100本まで						
7	中間試験(筆記)					20点	
8	カウンセリングからタイムカウントで相モデル(デザイン自由)100本まで						
9	カウンセリングからタイムカウントで相モデル(デザイン自由)120本まで						
10	カウンセリングからタイムカウントで相モデル(デザイン自由)120本まで						
11	カウンセリングからタイムカウントで相モデル(デザイン自由)120本まで・小テスト					10点	
12	店舗見学						
13	カウンセリングからタイムカウントで相モデル(デザイン自由)120本まで						
14	カウンセリングからタイムカウントで相モデル(デザイン自由)120本まで						
15	期末試験 相モデルで1Hオフ無し120本					60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術(スタイリスト)	必修 選択	必修必修	年次	2	担当教員	阿部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科 ヘアメイクコース					曜日・時間	火曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師として必要な知識と技術を学び、サロンワークのスタートラインに安心して立てることを目的とする。 主たる講師:美容室で美容師として従事しながら、本校で講師を勤める(阿部)							
【授業を通しての到達目標】							
お客様が入店してから退店されるまでの一通りの基本の流れを学ぶことを目的とする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
日本理容美容教育センターの美容技術理論1を参考とする。							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ヘアカラーリング概論						
2	ウィッグでグレーカラーの塗布(展示)(演習)						
3	ファッションカラーの塗布(展示)(演習) 筆記小テスト					小テスト10点満点	
4	人頭カラー演習						
5	ホイルワーク(展示)(演習)						
6	ブロードライ(座学) ウィッグで練習						
7	相モデルでブロー					中間テスト20点満点	
8	相モデルでブロー					中間テスト20点満点	
9	メンズセット(展示)(演習)(小テスト)					小テスト10点満点	
10	パーマ理論、現場でのアシスト、ハサミの開閉練習						
11	ワンレングス(座学)(演習)						
12	レイヤーカット(座学)(演習)						
13	グラデーション(座学)(演習)						
14	セიმレングス(座学)(演習)						
15	ウィッグカット					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術（ヘアメイク）		必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	長濱・東村
			授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	ヘアメイク科	ヘアメイクコース						
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）								
基礎学習と並行して学ぶ応用も含め、どのように実践現場で活用していくかを学びます								
すでにある広告やマガジンのキービジュアル、ファッションアイコンのヘアメイクからその再現方法をジャンル別に実習します								
講師経歴：（長濱）美容サロンで美容師として従事後、ヘアメイク事務所にてヘアメイク業務に8年以上従事。アートディレクターとしても活躍している。								
講師経歴：（東村）美容サロンや一般企業に対するヘアメイク指導や、美容部員向けのメイク研修講師等を実施。特殊メイクや、スチール撮影での講師経験もある。								
【授業を通じての到達目標】								
与えられたテーマをもとに女性像やスタイルを自ら提案、プレゼンができるようになる。								
自己判断的にならず、ヘアメイクをヘアメイクを通してクライアントや第三者が見ても共感を得られるようなビジュアル作りを目標とします								
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点	
1	クリエイティブヘア①スチール撮影で映えるバランス・色味の確認							
2	クリエイティブヘア②ヘッドアクセサリー等の作成とバランスを学ぶ							
3	クリエイティブヘア③ヘッドアクセサリー等の作成とバランスを学び、作品撮影を行う							
4	クリエイティブヘア④ナチュラルティスト作品のヘアメイクの模写を行い、再現力を高める						小テスト 5点	
5	クリエイティブヘア⑤モードティスト作品のヘアメイクの模写を行い、再現力を高める・タイムアップの練習							
6	クリエイティブヘア⑥モード・アーティスティックヘアメイクの模写を行い、再現力を高める・タイムアップの練習						小テスト 5点	
7	中間テスト（ヘアメイク模写2スタイル）						中間テスト 20点	
8	ヘアメイク応用 作り込みヘアスタイル① クリエイティブヘアを相モデルで学習する							
9	ヘアメイク応用 作り込みヘアスタイル② クリエイティブメイクを相モデルで学習する							
10	ブロー＆アイロンワーク（フォワードスタイル）							
11	ブロー＆アイロンワーク（リパーススタイル）							
12	ヘアメイク応用 似合せ モードスタイルのヘアメイクを相モデルで学習する							
13	ヘアメイク応用 似合せ モードスタイルのヘアメイク（ハイレベル）を相モデルで学習する						小テスト 10点	
14	1 から 1 4 回までの授業を振り返り授業・復習							
15	定期テスト（クリエイティブヘアメイクを相モデルで行う）						定期試験61点	
【特記事項】					【評価について】			
					●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
					●評価			
					A 評価（90～100点）/ B 評価（80～89点）/ C 評価（70～79点） D 評価（60～69点）			
					E 評価（出席不良・評価資格喪失）/ F 評価（0～59点・不合格）			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術(BA)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	堤 里海
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	ヘアメイク科ヘアメイクコース						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
BAとしてお客様に合ったご提案をする為に、タッチアップにおいてのマナーや様々なブランドのメイクトレンドを理解し、現場対応が可能な技術を身に付ける 主たる講師:外資系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼、MV、TV、広告等のヘアメイクに携わる。(堤 里海)							
【授業を通じての到達目標】							
現場に必要なタッチアップマナーやカウンセリング力、メイクアップ技術を身に付け、様々なブランドのコンセプトや製品について理解する事により、お客様一人一人に合った提案力を修得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、ファイル							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ブランドトレンドメイク①、パーソナルカラーについて						
2	ブランドトレンドメイク②、パーソナルカラーでのシーズン診断						
3	ブランドトレンドメイク③、パーソナルカラー似合わせカウンセリングメイク					5	
4	ブランド別トレンドメイク④、パーソナルカラーお悩み解決メイク						
5	ブランド別トレンドメイク⑤、パーソナルカラートレンド提案メイク						
6	ブランド別トレンドメイク提案、カウンセリングフルメイク					5	
7	中間テスト					20	
8	カウンセリングフルメイク① ニーズを引き出す、パーソナルシーズン別フルメイク						
9	カウンセリングフルメイク② お悩み解決、パーソナルシーズン別フルメイク						
10	カウンセリングフルメイク③ テーマ別、パーソナルシーズン別フルメイク						
11	カウンセリングフルメイク④ 指定アイテムの提案						
12	カウンセリングフルメイク⑤ まとめ					5	
13	自身の目指すブランドのリサーチ①イメージメイクの作成						
14	自身の目指すブランドのリサーチ②イメージメイクの作成					5	
15	定期テスト					60	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク実践演習Ⅰ	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	堤 里海
学科・コース	ヘアメイク科ヘアメイクコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
各テイスト別で様々な知識や技術を修得しメイク技術を上げる事で、基本な技術からクリエイティブな作品作りにおいて、必要な技術を身につける。 主たる講師：外資系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼、MV、TV、広告等のヘアメイクに携わる。(堤 里海)							
【授業を通じての到達目標】							
様々な知識や技術を修得し、メイク技術を上げる事で数あるジャンルのメイクに対応出来るようになり、卒業制作にて今までの集大成を披露する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、ファイル							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	テイスト別メイク①～ヌーディー～						
2	テイスト別メイク②～発色カラー～						
3	テイスト別メイク③～AWTトレンドランウェイメイク～					5	
4	テイスト別メイク④～和装メイク～						
5	テイスト別メイク⑤～ポイント特化メイク～						
6	中間テスト練習(今までに習得した技術の組み合わせメイクルックを完成させる)					5	
7	中間テスト					20	
8	ジャンル別ショー用メイク①:各ジャンルの掛け合わせ						
9	ジャンル別ショー用メイク②:各ジャンルの掛け合わせ						
10	テーマ別ショー用メイク①、卒業制作へ向けて						
11	テーマ別ショー用メイク②卒業制作へ向けて						
12	イメージ別ショー用メイク①卒業制作へ向けて					5	
13	イメージ別ショー用メイク②卒業制作へ向けて						
14	定期テスト練習(各自インスパイアされたテーマを元にデザインを考え、フルメイク作成)					5	
15	定期テスト					60	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク実践演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	桐谷
学科・コース	ヘアメイク科 ヘアメイクコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 水、金曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
コレクション等の経験を活かしスチール、卒業制作に向けてのクリエイティブな作品作りに特化した授業を行う 主たる講師：桐谷 コレクション(パリ、ミラノ、ニューヨーク、ロンドン)等のヘアメイク、TV((タレント等)、広告、ブライダル、サロンワーク等、多方面の分野で活躍し、本校で講師も務める							
【授業を通じての到達目標】							
2年間の集大成である卒業制作に向けて、より多くの技術を習得して、完成度の高い作品を仕上げる。グループで作品を作ることで、個々の技術を高め合い、より完成度の高い作品を作る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	クリエイティブヘアー(ヘッドアクセサリー)						
2	クリエイティブヘアー(ヘッドアクセサリー)						
3	クリエイティブヘアー(エクステンション)					小テスト5点	
4	クリエイティブヘアー(エクステンション)						
5	クリエイティブヘアー(シルエット)						
6	中間テスト					中間テスト20点	
7	卒業制作(グループ決定)					小テスト5点	
8	卒業制作(コンセプト)						
9	卒業制作(試作)					小テスト5点	
10	卒業制作(試作)						
11	卒業制作(試作)						
12	卒業制作(試作)					小テスト5点	
13	卒業制作準備(ホール)						
14	卒業制作準備(ホール)					定期テスト60点	
15	卒業制作準備(ホール)						
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ブライダルヘアメイク実践演習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	木本ルミ子
学科・コース	ヘアメイク科・ブライダルコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
実際に現場で働く講師より現在のトレンドを学びながら今までの技術を応用し、様々なブライダルスタイルをスタイリング出来るようになる。							
また、リハーサルから当日ヘアメイク決定、お仕度、アテンド、お引き上げまでの流れ及び内容を知る。							
【授業を通じての到達目標】							
様々なブライダルスタイルをリハーサル、当日ヘアメイクと提案することができドレスや小物に合わせトータルにコーディネートできるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	スチール作品練習① : スチールに向けて実際のモデルでスタイリングを練習し改善点を絞り完成						
2	スチール作品練習② : スチール作品をモデルでスタイリングを完成させ小物、背景等の最終確認						
3	ヘア模写① : 花嫁からのリクエストを前提にスタイルを再現模写することが出来る						
4	ヘア模写② : 花嫁からのリクエストを前提にスタイルを再現模写することが出来る					小テスト 10点	
5	新日本髪① : 各部の名称、手順、お飾りのつけ方等を覚え、七五三ベースの日本髪を結うことが出来る						
6	新日本髪② : 各部の名称、手順、お飾りのつけ方等を覚え、和装花嫁ベースの日本髪を結うことが出来る						
7	中間テスト : 新日本髪					中間テスト 20点	
8	和髪 かぶせ : 重心が低めなかぶせ夜会和髪スタイルを修得する。						
9	和髪 合わせ : 下目にボリュームのある抱き合わせで結い上げる和髪スタイルを修得する						
10	和髪 シニヨン : 下目にボリュームのあるシニヨンで結い上げる和髪スタイルを修得する。					小テスト 10点	
11	イメージ別似合わせヘアスタイリング① エレガント・ノーブル						
12	イメージ別似合わせヘアスタイリング② クール・ゴージャス						
13	卒業制作準備 : 卒業制作発表に向けてブライズヘアメイクをデザインし試作する。						
14	卒業制作準備 : 卒業制作発表に向けてデザインを固めて作成し改善点を探り完成形に近づける。						
15	定期テスト : 課題のスタイルを規定時間内に完成させることが出来る。					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格)			

科目名 (英)	ブライダルヘアメイク実践演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	木本ルミ子
学科・コース	ヘアメイク科・ブライダルコース	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
実際にブライダルの現場で働く講師より現在のトレンドを学びながら今までの技術を応用し、様々なブライダルスタイルをスタイリング出来るようになる。 また、現場の体験談や画像からリハーサルから当日ヘアメイク決定、お仕度、アテンド、お引き上げまでの流れをイメージできヘアメイクとしての立ち回りを学ぶ。							
【授業を通じての到達目標】							
様々なブライダルスタイルをドレス、小物、会場に合わせてトータルにコーディネートし提案出来るようになる。またブライダルヘアメイクとしてアテンド業務もこなせるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	スチール作品練習①　：スチールに向けて実際のモデルでスタイリングを練習し改善点を絞り完成						
2	スチール作品練習②　：スチール作品をモデルでスタイリングを完成させ小物、背景等の最終確認					小テスト　5点	
3	メイク模写①　：花嫁からのリクエストを前提にスタイルを再現模写することが出来る						
4	メイク模写②　：花嫁からのリクエストを前提にスタイルを再現模写することが出来る					小テスト　5点	
5	現代和装メイク　：今どき和装メイクのポイントを学習し、実践する。						
6	古典和装メイク　：和化粧の水おしろいでベースを作り、古典和装メイクのポイントを学習し実践						
7	中間テスト：　課題のスタイルを制限時間内に完成させることが出来る。					中間テスト　20点	
8	メンズメイク・タキシードフィッティング　：メンズトラブル肌のカバーの仕方、眉の整え方を修						
9	列席ミセスメイク①　：年齢を重ねた顔の変化を理解し、老けメイクを体験したうえでカバー修正						
10	列席ミセスメイク②　：年齢を重ねた顔の変化を理解し、年齢に合った色選び、描き方を学習し実						
11	韓国風メイク　：独特なベースづくりやポイントメイクを学び実践する					小テスト　5点	
12	イメージ別似合わせメイク②　エレガント・ノーブル						
13	イメージ別似合わせメイク③　クール・ゴージャス					小テスト　5点	
14	卒業制作準備　：卒業制作発表に向けてデザインを固めて作成し改善点を探り完成形に近づける。						
15	定期テスト　：課題のスタイルを規定時間内に完成させることが出来る。（卒業制作）					定期テスト　60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点 ●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点） D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）			

科目名 (英)	ブライダルヘアメイク実践演習Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大井・永井
学科・コース	ヘアメイク科ブライダルコース	授業 形態	実習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダルサロン勤務経験以外にもファッションショー・雑誌の撮影・舞台など20年以上にわたり幅広く現役で活躍している講師によるブライダルヘアメイクになる為の基礎技術・トータルバランス感覚・アテンド技術・自身の美しさを身に付ける							
【授業を通じての到達目標】							
各技術を理論的に理解・修得出来る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	スチール撮影作品練習:スチール作品をモデルに合わせて最終調整し完成度を高める						
2	会場別ヘアメイク①:会場の違いを理解し、ヘアメイクドレスによるトータルバランス感覚を習得する						
3	会場別ヘアメイク②:会場の違いを理解し、ヘアメイクドレスによるトータルバランス感覚を習得する					小テスト(5点)	
4	ご要望ヘアメイク①:お客様のご要望を理解し、髪質・顔を理論的に分析・構成・創造する						
5	ご要望ヘアメイク②:お客様のご要望を理解し、髪質・顔を理論的に分析・構成・創造する						
6	ご要望ヘアメイク③指定されたご要望ヘアメイクを時間内に作成する					中間テスト(20点)	
7	立体ヘアメイク:骨格を理解し、コントゥアリングメイクによる効果・技術を習得する						
8	ミセスブローセット①:ミセスの毛質を理解し、ブローによるセット技術を習得する						
9	ミセスブローセット②:ミセスの毛質を理解し、ブローによるセット技術を習得する					小テスト(5点)	
10	クイックチェンジ(ヘア):ヘアチェンジを想定し、仕込み・時短を論理的に考える力を習得する						
11	クイックチェンジ(ヘア・メイク):お色直しを想定し、メイクへの時間配分も論理的に考える力を習得する						
12	クイックチェンジ(ヘア・メイク・ドレス):お色直しを想定し、トータルバランスを論理的に考える力を習得する					小テスト(10点)	
13	卒業制作試作:方向性を決めて試作を作成する						
14	卒業制作練習:試作を基に修正・改善しより完成度を高める						
15	卒業制作作品:卒業制作作品を規定時間内に作成する					定期テスト(60点)	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			